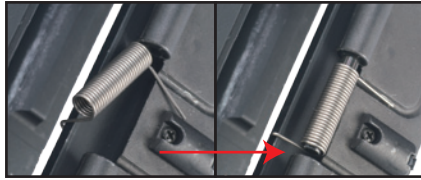


17

ダストカバーの取り付け

図のようにダストカバーにダストカバーシャフトを差し込んで固定します。  
※この際、ダストカバースプリングにテンションをかけながらスプリングの中を通してゆくようにします。

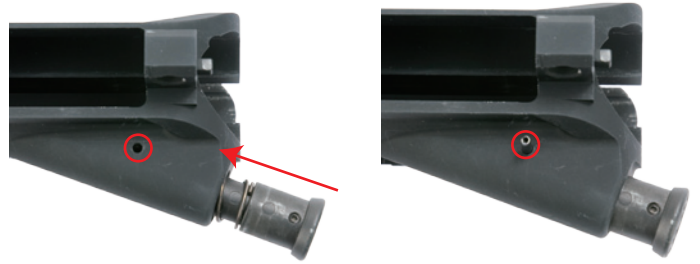


図の方法で組み込みます。  
この際、組むスプリングの向きや紛失に注意してください。

18

フォワードアシストノブの取り付け

●付属品  
フォワードアシストノブ  
固定ピン



図の様にフォワードアシストノブを差し込み、付属のピンで固定します。  
※ピンを組み込む場合、しっかりとノブを奥まで押し込み、ピンにあたるものがないことを確認したうえで組み込んでください。アシストノブが定位置に来ていない状態で無理にピンを組み込もうとすると、破損するおそれがあります。

19

ホップユニットの取り付け

図 1



図 2



図1の様にホップユニットを組み込みます。  
次に図2のネジで固定します。  
※ホップユニットが一番奥まで差し込んでください。  
※図2のネジは強く締めすぎないようにしてください。  
ネジがまけてしまうおそれがあります。

20

アウターバレルの取り付け I

図 1

ホップレバーB



図 2

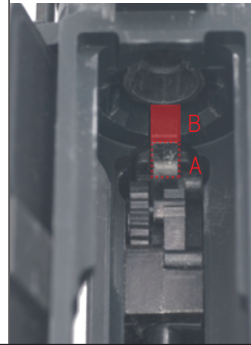


図1の様にアウターバレルをアッパーレシーバーに差し込みます。  
※この際、図2のようにバレル側のホップレバーB(赤色)をホップユニット側のホップレバーAの上側にかませるように組み込んでください。

21

デルタリングの取り付け I

図 1

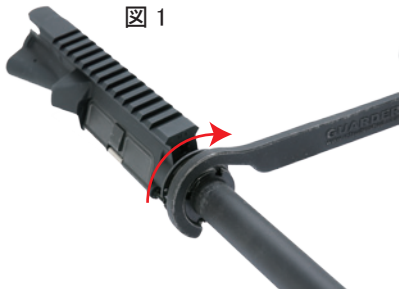


図 2



図1の様にバレル基部ナットをレンチなど工具を使って取り付けます。  
※この際、図2のようにガスチューブが取り付けできる位置で固定できるようにして下さい。  
ナットを最後まで締めこんだ状態で図2のようにならない場合、ISTW(丸S形止め輪)の位置を調整してください。

22

デルタリングの取り付け II

図 1



図 2



図1の順番でパーツを組み込みます。  
次に図2のネジをしめこんで固定します。

23

フロントサイトの取り付け

図 1



図 2



図1の様にフロントサイトとハンドガードキャップを組み込みます。  
※図2のようにガスチューブをデルタリングに通してレシーバーの穴に差し込みます。

24

フロントサイト、ハイダーの取り付け

図 1

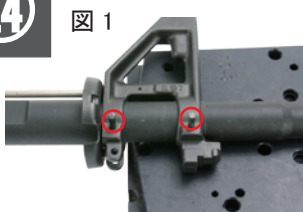


図 2



図 3



図1: フロントサイトベースを2本のピンを打ち込みます。  
図2: サイトベース下部のイモネジを回し、固定します。  
図3: フラッシュハイダーワッシャーをはめ、フラッシュハイダーを矢印の方向に回し取り付けます。

25

ハンドガードの取り付け

図 1

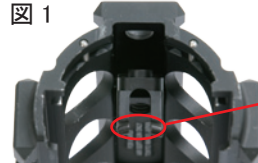


図 2



組み込み時と同じようにデルタリングをストック側に押し下げながら上と下のハンドガードを取り付けます。  
※ハンドガード上の取り付け時ハンドガード側の突起(図1)がデルタリング側のくぼみ(図2)にはまるように取り付けます。



**26** **グリップの取り付け**

図のように純正に使われていた六角ナット (No.MGG2-153) をはめ込みます。次に外した時と逆の手順でグリップをはめ、純正に取り付けられていたネジで固定します。



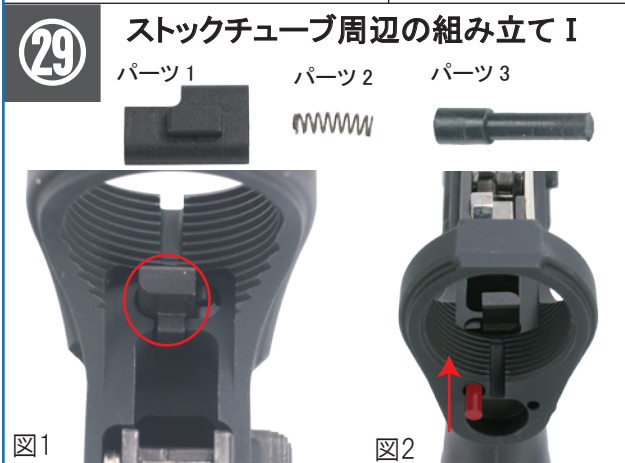
**27** **トリガーガードの取り付け**

図1のように純正に使われていた割ピンを叩き込み、トリガーガードを固定します。※この際、図1を参考に叩き込む反対側をしっかりとブロックなどで抑えて叩き込むようにしてください。しっかりと抑えずにたたくとレシーバー側の変形、破損につながる場合があります。次に図2のようにストッパーを押し込みながらはめ込んでください。



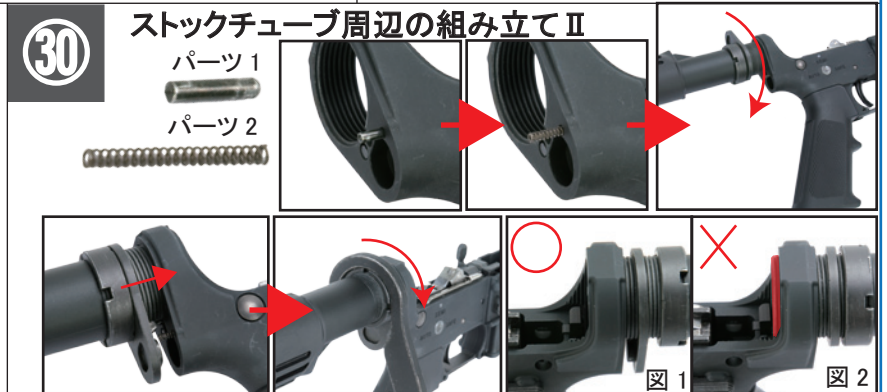
**28** **フレームピンの取り付け**

図のように純正のフレームピンストッパーとフレームピンストッパースプリングを抑え込むように純正フレームピンを溝の位置に合わせて押し込みます。※この際、フレームピンストッパーとフレームピンストッパースプリングを飛ばしてしまわないよう注意してください。



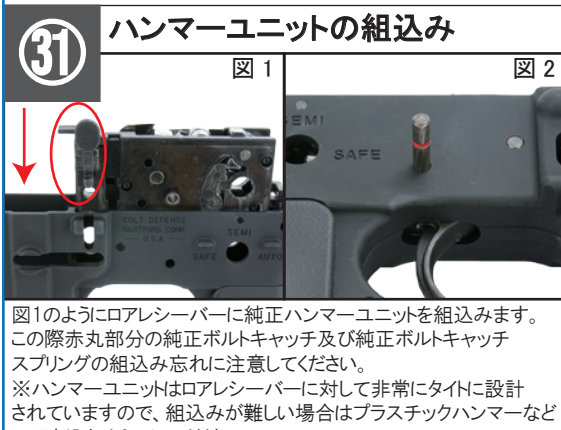
**29** **ストックチューブ周辺の組み立て I**

パーツ1: バッファーストッパー(本製品付属)とパーツ2: バッファーストッパースプリング(本製本付属)を図1の位置にはめ込み、パーツ3: バッファーストッパーピンを図2のように後ろ側から差し込みます。※パーツの紛失に注意して下さい。



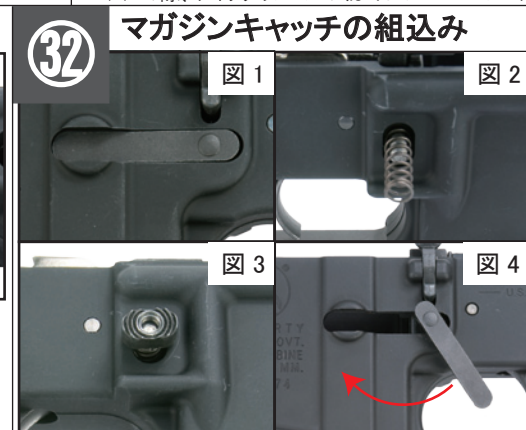
**30** **ストックチューブ周辺の組み立て II**

パーツ1: フレームピンストッパーを組み込み、その次にパーツ2: フレームピンストッパースプリングを組み込みます。次にストックチューブを時計回りに回していきます。※この際、図2のように締めこみすぎないようにしてください。赤い網掛けの部分が飛び出している状態だとアッパーレシーバーが組み込めなくなってしまいます。画像1の状態が正しい位置です。さらに画像のようにレンチなどの工具を使い、バッファリングナットを締め付けて固定します。※この際、ティクダウンピンのくぼみにフレームピンストッパーがはまり込んでいることを確認して下さい。



**31** **ハンマーユニットの組み込み**

図1のようにロアレシーバーに純正ハンマーユニットを組み込みます。この際赤丸部分の純正ボルトキャッチ及び純正ボルトキャッチスプリングの組み込み忘れに注意してください。※ハンマーユニットはロアレシーバーに対して非常にタイトに設計されていますので、組み込みが難しい場合はプラスチックハンマーなどで叩き込むようにしてください。ハンマーユニットの組み込みが完了したら、図2のように純正ハンマーシャフトをはめ込みます。その後、分解時と逆の手順でプラスネジでハンマーユニットを固定します。※純正ハンマーシャフトには向きがあります。図2のように、溝がある側を右側にして組み込んでください。



**32** **マガジンキャッチの組み込み**

項目⑬の逆の手順でマガジンキャッチを組み込みます。まず、図1のように左側からマガジンキャッチをはめ込み、図2のように右側からマガジンキャッチスプリングを組み込みます。次に図3のようにマガジンキャッチボタンを組み込みます。次にマガジンキャッチボタン側から押し込み、図4のようにマガジンキャッチを回転させ、定位置に戻します。



**33** **セレクターの組み込み**

項目⑫の逆の手順でセレクターを組み込みます。図1のようにハンマーをコックさせ、マガジンキャッチを組み込みます。次にセレクターを図2の位置に合わせ組み込みます。この際、図3の赤色の部分(ディスコネクター)をマイナスドライバーなどで押し下げながらはめ込んでください。



**34** **バッファースプリング、バッファースプリングガイドの組み込み**

項目⑨の逆の手順で図2のようにバッファースプリング、バッファースプリングガイドを組み込みます。図2の赤丸のパーツ(バッファーストッパー)を押し下げながらバッファースプリングガイドを押し込みます。バッファーストッパーから手を離すとバッファースプリングガイドがロックされ、飛び出さなくなります。※この際、バッファースプリングとバッファースプリングガイドを飛ばさぬように注意してください。



**35** **アッパー、ローフレームの組み立て**

最後に項目①、②の逆の手順でアッパーフレーム・ローフレームを組み立てます。※この際、フレームピン・ティクダウンピンが純正のフレームを組み込む時よりもかたい場合があります。その場合はプラスチックハンマーなどを使い、軽く叩き込むようにしてください。

**組込みは以上です。**